

抗血栓薬の術前休薬期間≪消化管内視鏡診療ガイドライン≫

[2021年11月改訂]

薬効	医薬品名			院内取り扱い規約 ^{※1}		
	一般名	薬品名(一例)	写真(一例)	消化管内視鏡診療ガイドライン ^{※2} 血栓症として大出血危険: High, 低危険度: Low (アスピリン: ASA, シロスタゾール: CLZ, DOAC: 直前直日抗凝固薬)		
抗凝固薬	ワルファリン	ワーファリン など		休薬不要	治療域内: 休薬不要 検査前日又は当日INR>3 : 禁忌(生検)	ヘパリン or 一時的DOAC置換 ※DOAC置換は非弁膜症性心房細動にのみ適用。 (アピキサiban、リバーロキサiban、エドキサibanは 静脈血栓症【深部静脈血栓症及び肺血栓症】 の治療および再発抑制も適用)
	ダビガトラン	プラザキサカプセル など		休薬不要	休薬不要 (ピーク期を避け、朝分は処置後に内服、 朝内服後は午後処置を行う。)	当日休薬(翌日朝から再開) or ヘパリン置換 (翌日朝のDOAC再開までヘパリン投与を考慮可)
	リバーロキサiban	イグザレルト など		休薬不要	休薬不要 (ピーク期を避け、朝分は処置後に内服、 朝内服後は午後処置を行う。)	当日休薬(翌日朝から再開) or ヘパリン置換 (翌日朝のDOAC再開までヘパリン投与を考慮可)
	アピキサiban	エリキュース錠 など				
	エドキサiban	リクシアナ など				
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン コンプラミン配合錠 タケルダ配合錠 キャプリン配合錠 パファリン配合錠A81 など		休薬不要	休薬不要	【単剤】 High: 休薬不要 Low: 3-5日間休薬 【2-3剤併用時】 継続 or CLZ置換
	チクロピジン	パナルジン チクロピジン など		休薬不要	休薬不要	【単剤】 High: ASA or CLZ置換 Low: 5-7日間休薬 【2剤併用時】 【抗凝固薬+他の抗血小板薬との併用】 ASA or CLZ置換 【ASAとの併用】 5-7日間休薬 【3剤併用時】 【抗凝固薬+他の抗血小板薬との併用】 ASA or CLZ置換 【ASA+抗凝固薬との併用】 5-7日休薬
	クロピドグレル	ブラビックス錠 クロピドグレル錠 コンプラミン配合錠 ロレアス配合錠 など				
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント など				
	チカグレロル (ASAと併用)	プリリント錠 など		休薬不要	休薬不要	5日間休薬 ASA継続(米国、欧州消化器内視鏡学会ガイドライン)
	シロスタゾール	プレタール シロスタゾール など		休薬不要	休薬不要	【単剤】 High: ASA or CLZ置換 Low: 1日間休薬 【2剤併用時】 【抗凝固薬との併用】 CLZ継続or 1日間休薬 【ASA or エルビリン系との併用】 1日間休薬 【3剤併用時】 1日間休薬
	サルボグレラート	アンブラグ サルボグレラート塩酸塩 など				
	ジピリダモール	ベルサンチン錠 ジピリダモール など				
	イコサペント酸エチル	エパデール イコサペント酸エチル など		休薬不要	休薬不要	【単剤】 High: ASA or CLZ置換 Low: 1日間休薬 【2剤併用時】 【抗凝固薬との併用】 CLZ継続or 1日間休薬 【ASA or エルビリン系との併用】 1日間休薬 【3剤併用時】 1日間休薬
	ω-3脂肪酸エチル	ロトリガ など				
	ニセリトロール	ベリシット錠 など				
	リマプロスト アルファテクス	オバルモン錠 プロレナール錠 など				
	ベラプロスト	ベラプロストNa錠 プロサイリン錠 ドルゾー錠 ケアロードLA錠 ベラサスLA錠 など				
冠血管拡張薬	ジラゼブ	コメリアンコーワ錠 など		休薬不要	休薬不要	
	トラピジル	ロコルナル トラピジル錠 など				

出血危険度による内視鏡の分類

※1	上部内視鏡(経鼻内視鏡含む)、下部内視鏡、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、内視鏡的逆行性胆管造影
※2	バルーン内視鏡、マーキング(クリップ、高周波、点墨など)、消化管・膵管・胆管ステント留置術(事前の切開手技を伴わない)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術
※3	ポリペクトミー(ポリプ切除術)、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的乳頭括約筋切開術、内視鏡的十二指腸乳頭切開術、超音波内視鏡下穿刺吸引術、経皮内視鏡的胃瘻造設術、内視鏡的食道・胃静脈瘤治療、内視鏡的消化管拡張術、内視鏡的粘膜焼灼術など

休薬による血栓塞栓症の高発症群

抗凝固薬関連	心原性脳塞栓症既往、弁膜症合併心房細動、弁膜症非合併脳卒中高リスク心房細動、僧帽弁機械弁置換術後、機械弁置換術後血栓塞栓症既往、人工弁設置、抗リン脂質抗体症候群、深部静脈血栓症・肺塞栓症
抗血小板薬関連	冠動脈ステント留置後2か月、冠動脈薬剤溶性ステント留置後12か月、脳血管再建術(頸動脈内膜剥離術、ステント留置)後2か月、主幹動脈50%以上狭窄を伴う脳梗塞または一過性脳虚血発作、最近発症した虚血性脳卒中または一過性脳虚血発作、閉塞性動脈硬化症Fontaine3度(安静時疼痛)以上、頸動脈エコー、頭頸部MRIで休薬の危険が高いと判断される所見を有する